

令和 7年 4月 8日

令和6年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：マツシマ創薬イノベーション講座

所 属 長：榎村敦詩

1 共同研究講座の目的

ミトコンドリア機能の活性化ならびに酸化ストレスを低減する薬剤の開発に関する研究

2 報告年度に係る取組状況

今年度は構造展開し得られた複数の合成化合物について、これらが有するミトコンドリア機能への影響を検討した。次年度は有望なデータの得られた化合物について、応用展開を目指したステップに進める予定である。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

Biomolecules. 2025 Jan 6;15(1):70. Epithelial-Mesenchymal Transition
Suppression by ML210 Enhances Gemcitabine Anti-Tumor Effects on PDAC Cells.

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。